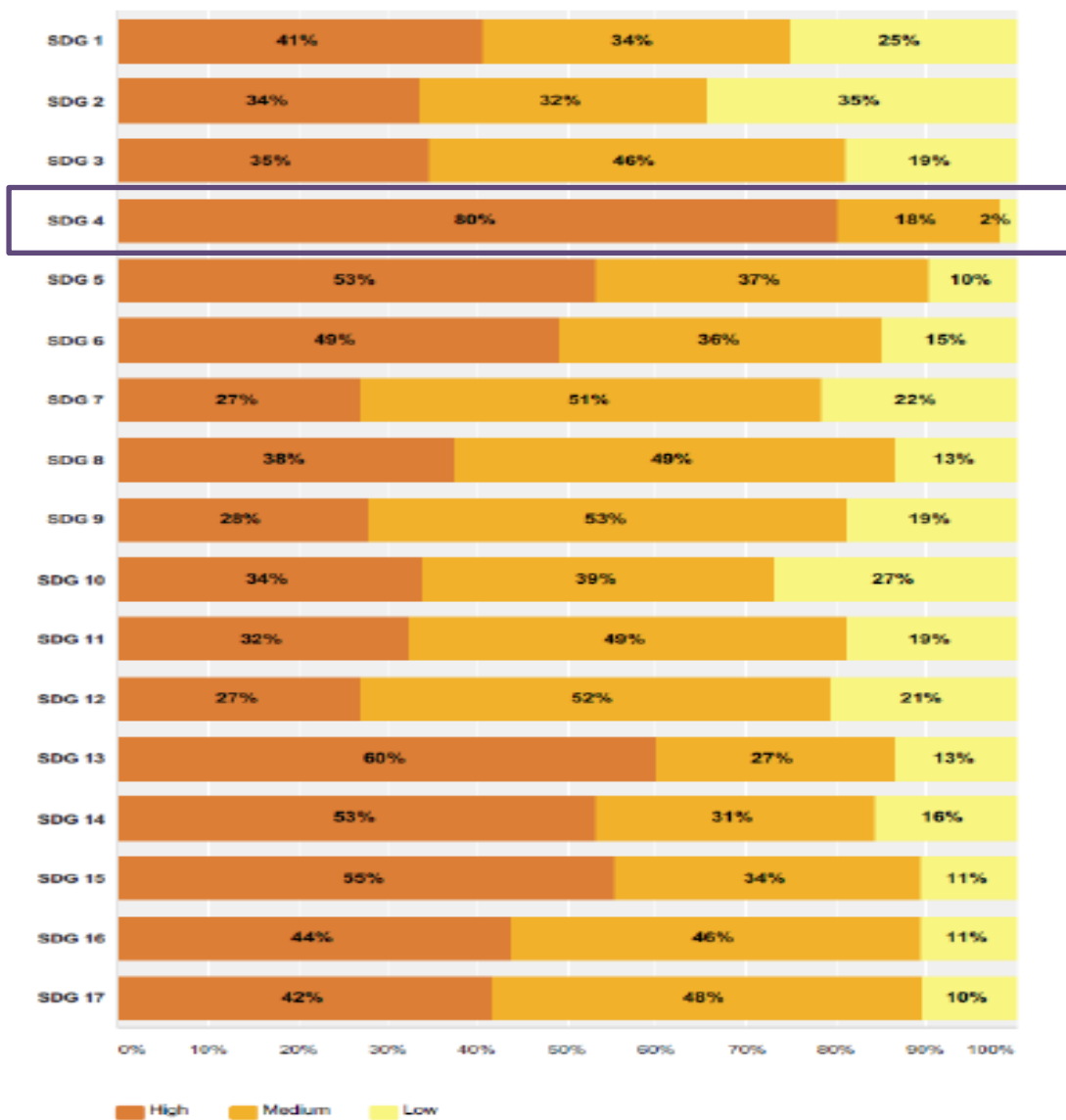


## ユネスコ事業・予算（2018-2021）に関するアンケート に対する加盟国及び準加盟地域からの回答の事前分析（概要）

ユネスコが2018年から2021年のプログラムと予算（39C/5）を策定する上で重要となる方針、優先順位等について、加盟国（各国のユネスコ国内委員会を含む）やユネスコに公的関係のある政府間機関、NGOに対してアンケートを実施。

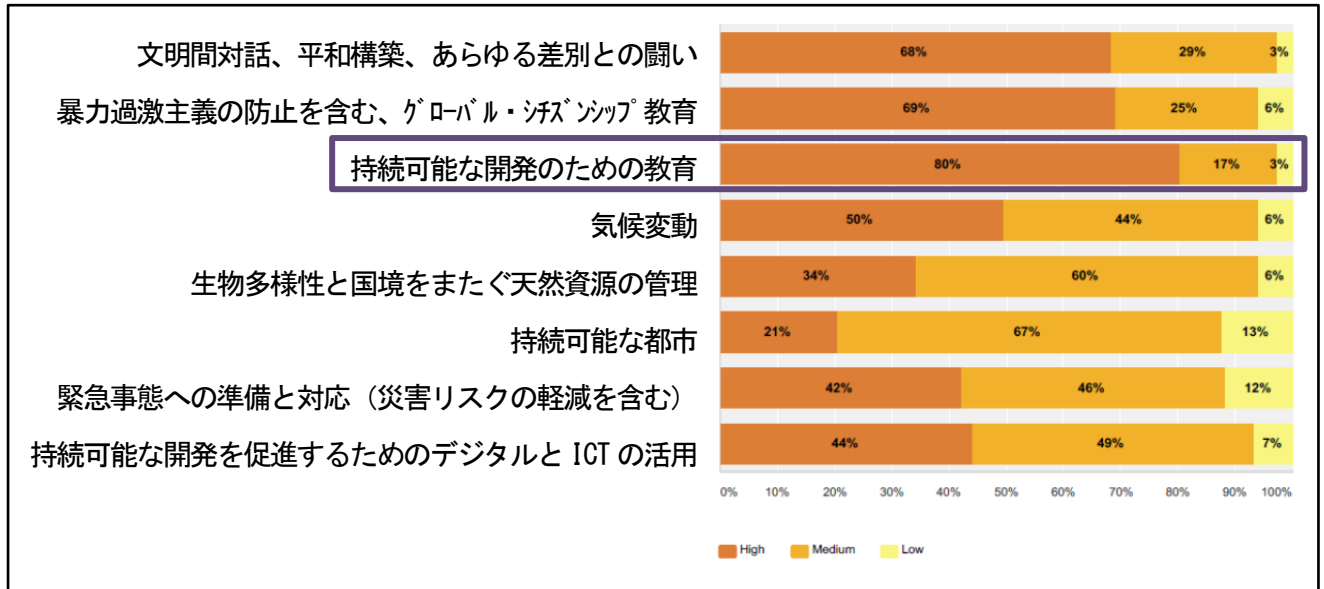
### 1. ユネスコが支援すべき目標について

- ・SDG 4（教育）は「High」の割合がもっとも高い。
- ・SDG13（気候変動）、SDG15、（陸上資源）SDG5（ジェンダー）、SDG14（海洋資源）についても、50%以上が「High」と回答。



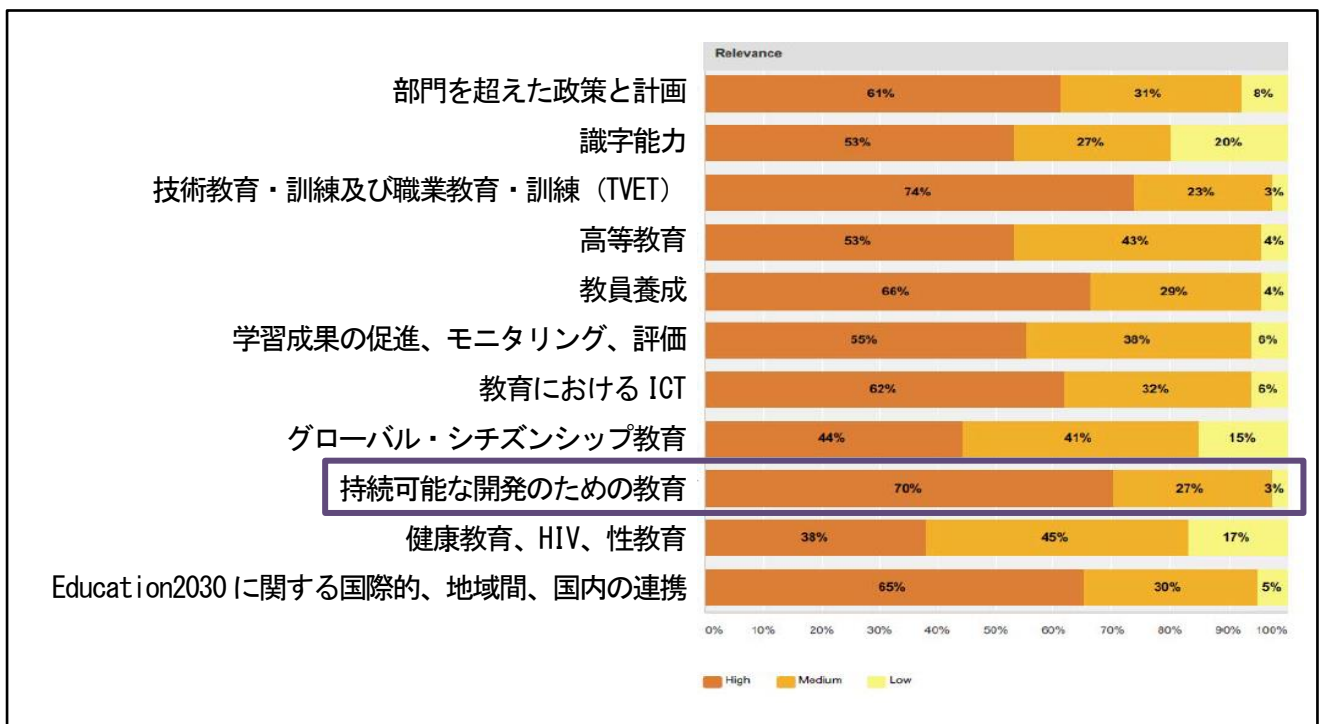
## 2. 分野を超えた専門的知見の活用や連携の強化をすべき領域について

- ・ ESD は「High」の割合がもっとも高い。
- ・ ESD について、GECD(グローバル・シチズンシップ教育)も「High」の割合が高い。



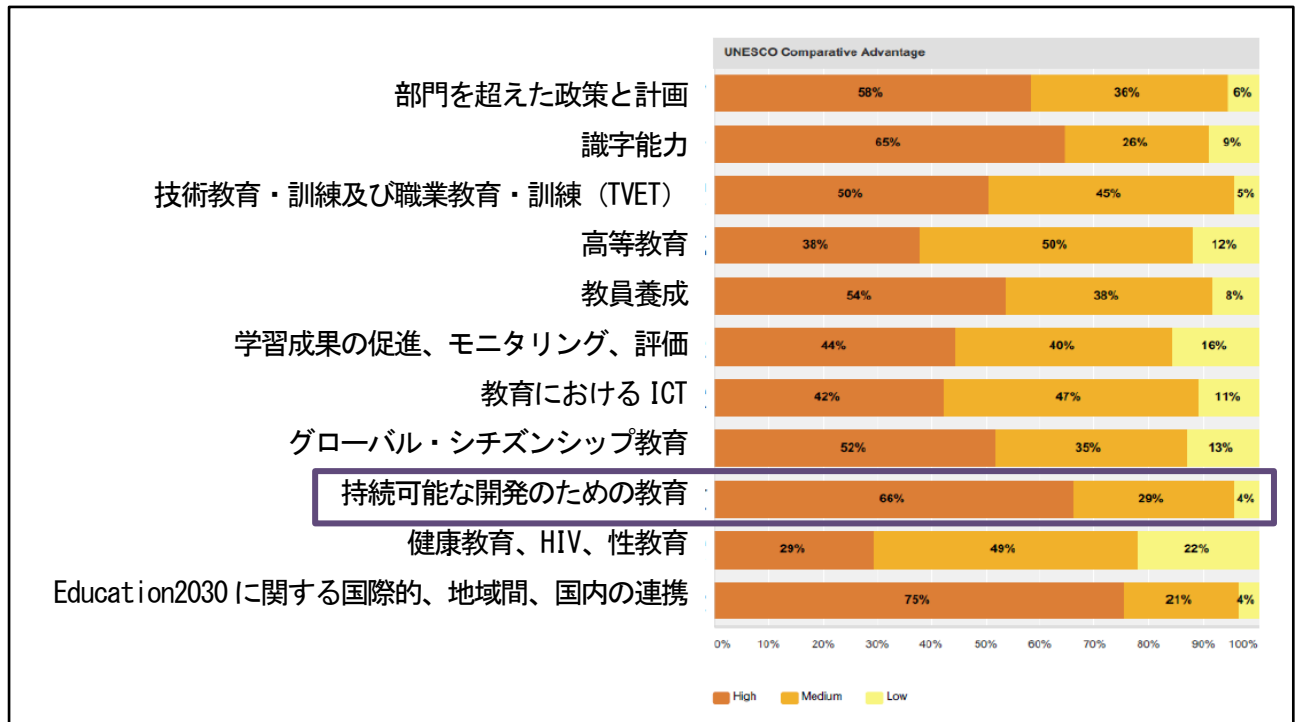
## 3. 教育分野において優先的に取り組むべき課題

- ・ 「High」と「Medium」を合わせた割合は、ESD が TVET と並んでトップである。
- ・ GCED は「High」と答えた割合が約4割にとどまる（ESD は7割）。



#### 4. ユネスコが比較優位を有する分野

- ・ Education2030 に関する連携について、「High」と「Medium」を合わせた割合はESDがもっとも高い。
- ・ GECD は5割強にとどまっている。



#### 5. 次期事業と予算において、活動を停止すべきと考える領域

- ・ 教育分野では、GECD の活動を停止すべきと回答する国が多い。

テーマ分野	回答数
<b>教育</b>	
健康教育、HIV、性教育	4
グローバル・シチズンシップ教育	4
部門を超えた政策と計画	2
<b>自然科学</b>	
生物多様性の保護、公平で持続可能な開発、気候変動への適応について学ぶ場所としての、エコパークの活用の推進	3
IOC	3
リスクの軽減、自然災害の早期警戒や災害への準備と回復の強化（ユネスコはリクエストに対してアドバイスのみすべき）	3
地域固有の知識や取決めを社会に、とりわけ SIDS や先住民を含	3

む社会的弱者に、集結すること	
<b>人文社会科学</b>	
持続可能な開発と平和を実現するものとしてスポーツの統合と管理	5
社会変容を理解し、共に進むことを社会に備えるために知識と価値を結集すること (MOST)	4
<b>文化</b>	
水中文化遺産の保護 (2001 年条約)	5
武力紛争の際の文化財の保護(1954 年条約と 2 つの附属議定書)	2
文化に関する条約の履行を通じた男女平等の主流化	2
遺産価値、創造性、文化多様性の促進のための教育プログラム	2
<b>コミュニケーション・情報</b>	
雇用創出や持続可能な開発目標 (SDG) 達成のための ICTs	5
促進された政府間の全てのプログラムのための情報 (IFAP) の優先事項の結果	4
教育における情報とコミュニケーション技術 (ICT) と包括的な知識社会を構築するためのオープン ICT ソリューション	2
「世界の記憶」プログラムを含む記録遺産の保護	2
世界情報社会サミットの成果の実践	2